

2024 年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 氏 名 西本 航志

台湾研修概要

日程: 8 月 25 日～8 月 31 日

訪問先: 元培医事技科大学、新竹國泰医院、臺北泰安医院、夜市(松山)、九份、台北 101

研修内容: 中国語の講義(大学内)、病院を見学し日本の病院にない独自の取り組みを知る

本研修に参加した目的と目標

留学生との交流や先輩方の報告会を聞いて、台湾の学生との交流や台湾の学校生活、街の観光に興味をもち志望しました。

目標は現地の方と積極的にコミュニケーションをとり、日本との学校や病院、学校生活の違いについて学ぶことです。

学内研修で学んだこと

友人たちと打ち解け合うきっかけとして会話したことだけでなく、遊びや食事、買い物、そしてスポーツと一緒に楽しむ時間があることがよかったです。そのため、人との距離の縮め方は会話以外にも様々あるという学びを得ました。みんなで集まって手遊びをしたり、同じテーブルで食事をしたりすることで、自然に会話が弾みました。また、大学近くのコンビニに行くことで、好みなどを知ることができ、さらに親近感がわきました。最後に、一緒にスポーツをすることで、協力し合いながら笑い合い、信頼関係が深まったと感じました。こうして、さまざまな活動を通じて、自然と打ち解け合うことができました。

学外研修で学んだこと

2 つの病院を訪問し、日本の病院と異なるところは検査や診察のアクセスや予約です。台湾では、受付から検査までのシステムが日本よりも進んでおり、患者はカードの ID を読み取るだけで受付が完了します。さらに、身長・体重・血圧を測定すると、そのデータが自動的に医師へ送信されるため、スムーズに診療を受けることができます。また、規模の大きい病院に転院する時も日本では紹介状が必要な場合がありますが、台湾では ID があれば紹介状なしで診察を受診することができます。これらにシステムは初診や検査から診察までの流れをスムーズにし、待ち時間を短縮できるので日本でも徐々に取り入れてほしいと思いました。

臺北泰安医院では、生活習慣を改善するために、長期間の受診または入院し、病院内で睡眠や食事、運動の管理する外来があります。そのため、院内の食堂には栄養士が常駐し、運動するための施設とトレーナーまでいたことに驚きました。このような、病院独自の取り組みにもとても興味が湧きました。

観光&交流

夜市や九份など様々な場所を観光しました。特に九份では町全体が商店街や市場のようになっており、日本ではなかなか目にすることができない光景や雰囲気を味わうことができました。食事でも口に合わないものはほとんどなく、臭豆腐や芋圓などの台湾の名産品も楽しんで味わうことができました。また、お土産店の店員さんもとても親切で気になるお土産の試食などもたくさんしてもらいました。

まとめ

最初は台湾の学生と仲良くなれるか、言いたいことが伝わるか、食事は口に合うかななどの不安がありました。しかし、空港で初めて会った時から台湾の学生さん達から積極的に話しかけて頂き、とても充実した1週間を送ることができました。また、台湾ではトイレトペーパーが使えない場所が多くあったり、電車内で立つ人のための手すりがあったりなど、日本の生活との違いについても多くの気づきを得ることができました。

全ての行事が新鮮でとても楽しく、あっという間に過ぎてしまった気分になりました。今では、もっと長い期間交流したかったと思っています。参加して本当に良かったと思っています。

謝辞

この度は、台湾での研修において、先生方や島津学園の皆様、多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。現地での研修を通じて、台湾の文化や医療について深く理解することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。皆様の温かいご指導とご配慮に感謝し、今後の学業に活かしてまいります。また、今後もこのような活動に積極的に参加したいと思っています。改めて、このような機会を提供していただき、ありがとうございます。



九份観光の様子

挨拶を教えてもらっている様子



新竹國泰医院訪問

ランチタイム



臺北泰安醫院の運動施設

